

イスカリオテ・ユダ

2011/5/22

シリーズ～弟子道～

12使徒の一人

- ・ 召命の経緯については何も記されていない
- ・ リストの最後に記されている「裏切り者」
 - 「イスカリオテ」とは「ケリヨテ出身」の意
 - マタイ「イエスを裏切ったイスカリオテのユダ」
 - ルカ「後に裏切り者となったイスカリオテのユダである。」
- ・ 財布を預かっていたが、盗んでいた
 - 「彼は盗人であって、金入れを預かっていたが、その中身をごまかしていたからである」
＜ヨハネ12:6＞ ナルドの香油のエピソード

師を売った男

- ・ ユダ自ら祭司長に話を持ちかけた
 - 「『あの男をあなたたちに引き渡せば、幾らくれますか』』と言った。そこで、彼らは銀貨三十枚を支払うことにした。」<マタイ26:15>
- ・ イエス様はユダの裏切りを知っておられた
 - 「わたしと一緒に手で鉢に食べ物を浸した者が、わたしを裏切る。」<マタイ26:23>
 - 「わたしがパン切れを浸して与えるのがその人だ」と答えられた。それから、パン切れを浸して取り、イスカリオテのユダにお与えになった。」<ヨハネ13:26>

裏切りと後悔

- ・ ゲツセマネの祈りの後、ユダは接吻でイエス様を指し示し、捕らえさせた
 - － 「イエスを裏切ろうとしていたユダは、『わたしが接吻するのが、その人だ。それを捕まえろ』と、前もって合図を決めていた。」＜マタイ26:48＞
- ・ イエス様がピラトに引き渡されると聞き、ユダは祭司長に金を返そうとした
 - － 「そして、イエスを縛って引いて行き、総督ピラトに渡した。そのころ、イエスを裏切ったユダは、イエスに有罪の判決が下ったのを知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちや長老たちに返そうとして」＜マタイ27:2-3＞

裏切りの代償

- ・ 金を受け取ってもらえず、神殿に投げ込み、自殺した
 - 「『わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました』と言った。しかし彼らは、『我々の知ったことではない。お前の問題だ』と言った。そこで、ユダは銀貨を神殿に投げ込んで立ち去り、首をつって死んだ。』<マタイ27:4-5>

ユダはなぜ師を売ったのか？

- ・ 金欲しさ

- －「神と富とに仕えることはできない」<ルカ16:13

- ・ まさか有罪になるとは思っていなかった

- － イエス様が罪のない方だと知っていた

- － イエス様の力を目撃していた

- ・ 出来心・浅はかさ

- － イエス様が有罪になったと知り、後悔し、あわてて金を返そうとした

- － 開き直れるほどの悪人ではなかった

イエス様はなぜユダを弟子にしたのか

- ・ イエス様はユダがやろうとしていることを知っておられた
 - 最後の晩餐はユダの悔い改めのチャンスだった
- ・ イエス様はユダを憐れんでおられた
 - 「人の子を裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方が、その者のためによかった。」＜マタイ＞
- ・ ユダの贖罪のためにも十字架にかかられた
 - 「イエスは言われた。『父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。』」
＜ルカ23:34＞

イエス様の教育

- ・ 人間の心を造り替え、育てることの難しさ
 - － イエス様と共にいても、ユダは最後まで自分の弱さに気づかなかった
- ・ 強制も、「お説教」もない教育
 - － イエス様はユダがやろうとしていることを知りつつも、無理矢理止めようとはされなかった
- ・ 1%の可能性にかける教育
 - － 予告し、パンを渡し、接吻を受け……

ヘブライ 4章15節

「この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、
罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。」